様式第９（第１０条関係）

特 定 建 設 作 業 実 施 届 出 書

年　　月　　日

武 蔵 村 山 市 長 殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 住所  届出者　氏名  電話 | （法人にあっては、名称及び代表者の氏名） |  |

特定建設作業を実施するので、騒音規制法第１４条第１項(第２項)の規定により、次のとおり届け出ます。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設工事の名称 |  | | | |
| 建設工事の目的に係る施設又は工作物の種類 |  | | | |
| 特定建設作業の種類 |  | | | |
| 特定建設作業に使用される騒音規制法施行令別表第2に規定する機械の名称、型式及び仕様 |  | | | |
| 特定建設作業の場所 |  | | | |
| 特定建設作業の実施の期間 | 自　　　年　　　月　　　日  至　　　年　　　月　　　日 | | 日間 | |
| 特定建設作業の開始及び終了の時刻 | 作業開始 | 作業終了 | 作業日 | 実働時間 |
| 自　　 時 | 至　　 時 |  | 時間 |
|  |  |  |  |
| 騒音の防止の方法 |  | | | |
| 発注者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名 | 電話番号 | | | |
| 届出者の現場責任者の氏名及び連絡場所 | 電話番号 | | | |
| 下請負人が特定建設作業を実施する場合は、当該下請負人の氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名 | 電話番号 | | | |
| 下請負人が特定建設作業を実施する場合は、当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所 | 電話番号 | | | |
| ※　　受理年月日 |  | | | |
| ※　　審査結果 |  | | | |

備考　１　この届出書は、騒音規制法施行令別表第２に掲げる特定建設作業の種類ごとに提出すること。

２　特定建設作業の種類の欄には、騒音規制法施行令別表第２に掲げる作業の種類を記載すること。

３　特定建設作業の実施の期間の欄には、その期間中作業をしないこととしている日がある場合は、作業をしない日を明示すること。

４　特定建設作業の開始及び終了の時刻の欄の記載にあたっては、作業の開始時刻及び終了時刻並びに実働時間が同じで　　　　　ある日ごとにまとめてさしつかえない。

５　工程表、見取図（周辺半径８０ｍ）、配置図（養生･パネルなどを記入）を添付すること。

６　※印の欄には、記載しないこと。

７　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

８　氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）

署名することができる。

建設・解体工事に伴う指導及び注意書

１　近隣住民に工事日程や工程などを事前に説明し、紛争の未然予防に配慮すること。

また、必要に応じてネズミ等防除の衛生対策を実施すること。

２　工事には低騒音・低振動工法を採用し、粉じん対策として散水を徹底すること。

また、目的の解体建物周辺には、必ず養生シート等を使用すること。

３　現場でのコンクリガラの小割りやバケットのふるいは、必要最小限に努め、細心の注意を払うこと。

また、機器類は本来の使用方法以外の目的で操作しないこと。

４　現場には、必ず責任者を置き、安全管理を徹底すること。

５　防水工事でアスファルト等を溶解する際には、当日の風向きを考慮し臭いが発生する旨を、事前に近隣住民に周知説明すること。

６　重機の不必要な暖機運転に注意し、車両のアイドリングストップを励行すること。

７　アスベストの調査結果　　有（ )・　なし　・　その他（　　　　　　）

武蔵村山市環境部環境課環境保全係

ＴＥＬ　　０４２－５６５－１１１１

ＦＡＸ　　０４２－５６６－４４９３

上記の記載事項を、確認いたしました。

届出者　住　　所

　　　　氏　　名

　　　　電話番号